

入浴時警戒情報 2 年目

● 2024 年 11 月～2025 年 2 月の取組 ●

法医学分野では昨年同様下記の取組を行いました。

- ・毎日分野 HP にて入浴時警戒情報を公開
- ・MBC 南日本放送、NHK 鹿児島放送局、KTS 鹿児島テレビの天気予報中、南日本新聞の「きょうの天気」にて毎日入浴時警戒情報を公開

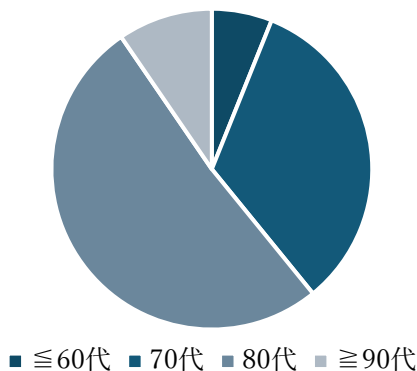
昨年の取組に加えて下記の取組を新規に行いました。

- ・株式会社エクセル・クリエイツと共同開発した入浴時警戒情報の LINE アプリにて、「友だち追加」した鹿児島県民の居住地に合わせて、毎日 16 時に入浴時警戒情報を受動的に得られるシステムを構築しました
- ・検査と健康展や市民公開講座にてハガキが印刷されたチラシを配布し、入浴習慣についてアンケートを行いました
- ・分野 HP にてアンケートを掲載しました

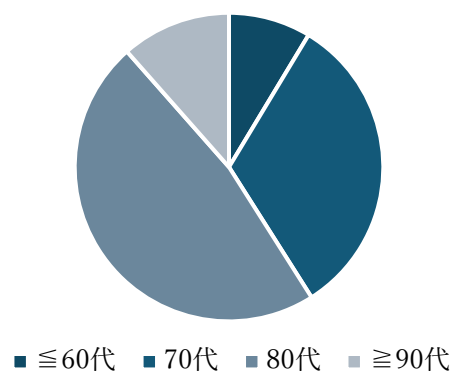
● 入浴時警戒情報の効果 ●

入浴死者数の推移

入浴時警戒情報発令1年目(%)

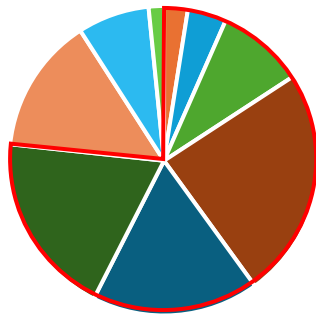


入浴時警戒情報発令2年目(%)



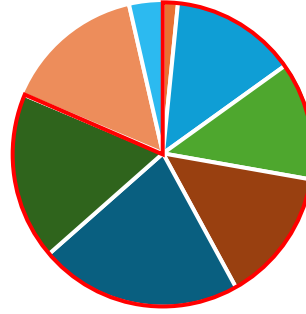
60 代未満の入浴死者数は 0 人でした。

1年目LINE登録者(%)



■ ≤10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代
■ 60代 ■ 70代 ■ 80代 ■ 90代

2年目LINE登録者(%)

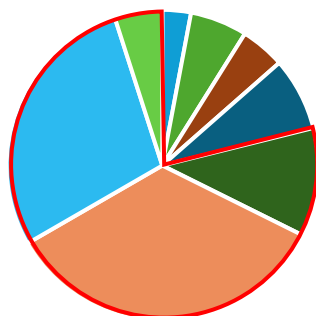


■ ≤10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代
■ 60代 ■ 70代 ■ 80代 ■ ≥90代

人口 10 万人当たりの 10 代、20 代、30 代における LINE 登録者数が増加していました。

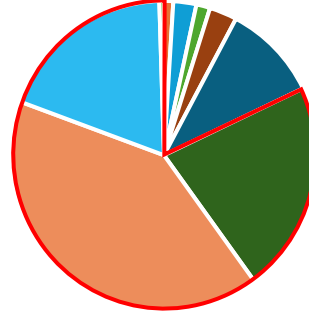
分野の年代別アンケート回答者および LINE 登録者の年代は、60 歳代以下が大半を占めていました（赤線で囲んでいる部分です）。

ハガキ回答者(%)



■ ≤10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代
■ 60代 ■ 70代 ■ 80代 ■ ≥90代

アンケート回答者(%)



■ ≤10代 ■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代
■ 60代 ■ 70代 ■ 80代 ■ ≥90代

配布したハガキやアンケートの回答者は、70 代以上が大半を占めていました（赤線で囲んでいる部分です）。ハガキの回答者は徳之島が最も多く、次いで曾於市、伊佐市からの回収率が高かったです。

これらの結果から、入浴時警戒情報が浸透した世代は入浴死者数が減少している可能性が示唆されました。今年度はチラシの配布先を慎重に選定するなどして、広く県民に入浴時警戒情報を周知する活動を実施する予定です。